

緑の相談コーナーだより

NO. 336 2013. 6 . 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

身近な樹木 “シャラノキ” (沙羅木)

～沙羅双樹に間違えられたことに由来する木～

ツバキ科ナツツバキ属の落葉高木で、本州、四国、九州の山地に自生しますが、光沢のある木肌と梅雨時にしっとりと咲く白い花が好まれ、最近では、道内でも庭木として植えられています。和名は、ツバキに似た花が夏に咲くことから、ナツツバキと呼ばれます。高さは 10 m ほどになり、7 月頃、ツバキによく似た 5 弁の白い花を、葉腋に 1 つずつ、上向きに咲かせます。直径 5 ～ 7 cm の大きな花ですが、散るのは早いようです。また、この木の仲間に、小形で、茶庭になくてもはならないものとしてヒメシャラなどもあります。花は、次から次と咲いてゆきますが、その一個一個の花はたった 1 日で終わってしまうので、サクラのように満開の時期は定かではありません。それでも夏緑樹らしい明るくやわらかな緑の葉の間に、控えめに咲く純白の花は、なんとも清々しく美しいものです。

シャラノキ (ナツツバキ) は、成木になると樹皮はところどころ薄くはがれて、きれいなまだら模様をみせます。そうなっても幹肌はすべすべと滑らかで、つい近寄ってその樹幹をなでてみたくなります。樹高が数メートルの木なら花もよく見えますし、花つきもよいので、最近では、一般住宅の庭木としてもさかんに植えられているようです。

シャラノキの名前の由来ですが、この木をインドのシャラノキ (沙羅樹) と間違ったことに由来するといわれ、シャラ、サラソウジュなどと呼ばれるのもこのためです。また、ナツツバキの別名は「夏椿」の意味で、夏にツバキのような花を開くからです。サラソウジュの名は、「平家物語」の冒頭にある「^{ぎおんしょうじゃ}祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり ^{さらそうじゅ}沙羅双樹の花の色 ^{じょうしゃひつすい}盛者必衰の理 ^{ことわり}をあらはす」で有名ですが、本来のサラソウジュは仏教の三大聖樹のひとつ



ナツツバキ (シャラノキ)

Stewartia pseudo-camellia Maxim.

つで、インドからネパールにかけて分布するフタバガキ科の樹木で、日本には分布しないため、この木をサラソウジュと誤解したと思われます。シャラノキ（ナツツバキ）がしばしば寺院などに植えられているのはこのためです。

用途は木理が屈曲し、強硬で割れにくく、鉋削も困難なことから、皮付きの床柱やみの柄、槌、農具、漆器木地、杵、櫛などの器具材や旋作材、彫刻材、薪炭材とされる外、樹形や樹幹、花容とも美しいことから庭園用として珍重されます。

沙羅の雨人っ子ひとり来たりけり

田村木国

葉の色に白は淋しき夏椿

高木晴子



公園だより

バラ園



今年は雪解けが大幅に遅れ、おまけに5月になっての低温続きで、サクラの花の季節も大幅に遅れてしまいました。このため、田起こしなどの農作業も著しく遅れ、今後の天気の回復が待たれるところです。それでも6月になって、初夏の暖かい日差しが、農業関係者や園芸愛好家の皆さんをせき立て、忙しくも、また楽しい季節を迎えております。今月のバラ園は、定植したバラのシュートが輝きを増し、その枝先には蕾のふくらみが開花の日を待っております。また、7月のバラサミットに向け、一部の作業が行われていますが、ハマナスの丘や園路沿いでは、今月中旬頃ハマナスが香しい花を咲かせることとしましょう。イングリッシュローズガーデンでは宿根草などの花々もほころんでいることとしますので、初夏を迎えたバラ園を、ぜひ覗いて見て下さい。

♥今月のバラ園からの一口メモは、バラの肥料やりについてです。絶え間なく生育を続け、美しい花をより多く咲かせるバラにとって、肥料は欠かすことができません。肥料には大きく分けて、基礎体力を養う元肥と、開花後の体力を回復させる追肥、お礼肥があります。元肥は、バラが休んでいる間に施します。本州では寒肥として冬に行いますが、北海道では融雪後直ぐに行うのが普通です。元肥はなるべく有機質肥料を使い、株元から30～40cmほどのところに、10cmほどの穴を掘って施します。お礼肥は追肥の中でも、花が終わったすぐ後に施す肥料をいい、開花によって消耗した栄養回復のためのもので、速効性の肥料が向きます。追肥はバラが盛んに生育する時期に月1回程度、根元から30～40cm離れたところに、円を描くように5cmくらいの深さにすき込んで施しましょう。

色彩館では、タイサンボクの花蕾がふくらみはじめています。また、壁面のツルバラが咲いているほか、宿根草などの花も間もなく満開になるでしょう。

南国温室では、ブーゲンビレアやエンゼルス・トランペットが花をつけ、ストレリチア（極楽鳥花）やアナナスなども咲き続けております。

相 談 日 記

問 最近家庭果樹として、あまり株が大きくなならない小果樹の人気の高まっているようです。その中でも難しい手入れがいらず、一年を通して楽しめ、コンテナ栽培もOKで、目に効く美味しい果実ということで、ブルーベリーの栽培に取り組みたいと思っています。そこで、植えるに当たって、北海道でもよく育つブルーベリーの系統と品種や栽培・管理のポイントについて知りたいのですが？

答 ブルーベリーには、ざっと 200 種以上の栽培品種があるといわれています。ツツジ科スノキ属の低木で、わが国にもこの木の仲間が多いのですが、近年栽培される品種の多くは、北アメリカ原産のものです。病虫害に強く丈夫なので、無農薬で容易に育てることができ、果実は順々に色づくため、長い間収穫を楽しめることから、家庭果樹として人気です。生食でも美味しく、視力向上や疲れ目に効果があるアントシアニンが豊富で、速効性が高いので、毎朝食べるとよいようです。

栽培品種を選ぶ 北海道では育たない品種も多いので、品種選びには注意が必要です。それぞれの品種はおおまかに、ローブッシュ系、ハイブッシュ系、ラビットアイ系などがあります。ふつう、北海道では寒さに強いハイブッシュ系を選びますが、同じ系統でも品種によって、株姿や実のつき方が少しずつ違い、果実の味や大きさも異なります。そこで、北海道に向くブルーベリーについて、北海道立農業試験場では、19 品種について、耐寒性や樹体生育、収量性、果実の大きさ、食味、日持ち性などの各項目について、総合的に評価する調査を行っています。この調査結果を参考にさせて頂くと、有望な品種として、レカ、プル、ノースランド、パークレイの 4 品種が選ばれています。また、このほかにもやや有望な品種も 9 品種ありますので、こだわりたい方は、好みの品種を探してみるとよいでしょう。

ブルーベリーの管理のポイント ①ブルーベリーは幼木の時には、あまり株が大きくなりません。幼木のうちは花芽を剪定し、実をつけさせないようにし、株の充実をはかるようにします。より早い収穫を望む時は、1 年ものの苗木ではなく、2～3 年ものを選ぶようにしましょう。②生育土壌は、酸性土壌（pH4.5 前後）を好みます。酸性土壌をつくるには、無調整のピートモスを植え付け土壌にたっぷりと混ぜ込みます。また、石灰は絶対に与えないようにします。③日頃の管理では、水切れに注意します。土壌の乾燥に注意し、落ち葉や堆肥でマルチングしたり、こまめな水やりをしましょう。④肥料は、春に油かすなどの有機肥料を少々与える程度にしましょう。肥料の与えすぎは根焼けを起こすので注意します。

夏の夕景色に映える優美な花～ツキミソウ 花言葉 素晴らしい魅力



ツキミソウは、アカバナ科マツヨイグサ属の園芸植物として栽培される2年草です。北米原産で耐寒性があり、日本には江戸時代に渡来し、観賞用に栽培されました。帰化植物でありながら、わが国の夏の夕景色になくってはならない花になっています。

和名のツキミソウは月見草の意味で、白い花卉が夕方に咲くことから、これを夕月に例えて呼んだものです。ところで、一般に「月見草」と呼ばれ、歌にも詠まれる植物は、このほかに2種類あります。マツヨイグサとオオマツヨイグサで、前者は、チリ原産で江戸時代末期に渡来し、現在では各地に広く野生しています。後者は、北米原産で、明治初年に渡来し、やはり帰化植物化して各地の河原などに見られます。ツキミソウの外、鉢植えとしてヒルザキツキミソウやモモバナツキミソウが栽培されていますが、手入れのポイントは、日当たりのよい場所で育てることです。庭植えや花壇などでも育てられますが、大型種のマツヨイグサなどは雑草化することもあるので気をつけましょう。

6～7月の園芸講座・行事案内

市民園芸講座の内容紹介

♣ コンテナガーデンの基本

日時 6月 9日(日) 13:00～15:00

講師 恵庭サンガーデン 土谷 美紀 さん 定員 40人 参加料 無料

♣ 庭木・花木管理の基本

日時 6月 16日(日) 13:00～15:00

講師 緑化相談員(樹木医) 泉 征三郎 定員 40人 参加料 無料

♣ バラ園のバラを使ったアレンジメント

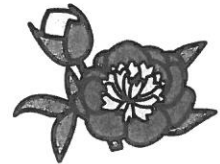
日時 7月 7日(日) 13:00～15:00

講師 フラワーデザイナー 富井加代子 さん 定員 30人 材料代 1000円

♣ バラの美しい写真の写し方

日時 7月 14日(日) 10:00～12:00

講師 ナチュラル写真家 若林 信男 さん 定員 20人 参加料 無料



編集・発行 北海道グリーンランド(空知リゾートシティ株式会社)

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111 まで